

あいさつ

飛沫会会長 31代キッパン

飛沫会会長を拝命し一年余りが経過しました。

この間75周年記念大会も会員の皆様や現役及び幹部の方々のお陰で無事開催することができ、心より感謝しております。

更に各支部の皆様には、現役の遠征において暖かい激励をいただき、ありがとうございます。

今年の現役は久々に中国インカレを両クラス制覇する華々しい活躍をしてくれ大変心強く思います。

ただ、全日では全国レベルの壁に阻まれ思うような結果が残せなかったようですが今後のレベルアップに期待し、当会としましても更なるバックアップの必要性を痛感しました。飛沫会会員相互の親睦を図るとともに、現役への支援強化に尽力して参りますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

当会の更なる活性化を図るため、来年牛窓で(仮称)総会(会員の集い)の開催を計画しています。詳細が決まり次第、ご案内をいたしますので、是非ともご参集いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、来年が現役部員及び飛沫会会員の皆様にとって飛躍の年になることを祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。

お 礼

岡山大学ヨット部顧問 大西 勝
(33代ゲッケイ)

飛沫会会員の皆様には、本年も、岡山大学ヨット部に多大な御支援を賜り誠にありがとうございます。

中国水域の全日本インカレへの出場枠が1校となり、ここ数年出場できていませんでしたが、本年は中国インカレで両クラス優勝および総合優勝を勝ち取り、両クラスとも全日本インカレに出場することができました。会員皆様の御期待に対して、少しは応えることができたのではないかと考えております。

また、部員数も40名を越え、部の雰囲気も大いに盛り上がっています。人数が多い分、いろいろな問題もあるようですが、各人が知恵を絞り、お互いに話し合い、ヨットを通して様々な人生経験を積んでいます。まさに、青春です。

新体制となり、すでに来年のインカレに向けて動き出しています。本年の勢いをさらに加速して全国に名を轟かせることを願っております。引き続きの御支援をどうかよろしくお願いいたします。

最後になりますが、会員皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

岡山大学ヨット部 存続の危機・・・

会計 37代チクビ

今年9月、現役が10年ぶりに中国インカレ完全優勝を果たしました。

(1) その要因は・・・、

- ・今年外部コーチを招いたり、これまでにない遠征回数をこなして力を付けたこと
- ・40名を超える部員数に恵まれ、互いに切磋琢磨できる環境があること
- ・今年6月、飛沫会がスナイプ新艇(約180万円)を提供できたこと(昨夏の75周年記念大会の収益(約135万円)を充当しました)

(2) 一方で現役活動の台所事情は・・・、

- ・現役は、部費、バイト等の部員個々人の支出により約900万円を集め(上級生は各々年間30~40万円を費やし)、遠征費約600万円、コーチ代約60万円、セール代約70万円他諸々の多額な費用を捻出
- ・国立大学の財政悪化の影響で、大学からの支援は最近年間50万円程度にとどまり、これまでお願いしてきた新艇購入費等の大口の要求は受け付けてもらえない状況

(3) 「岡山大学ヨット部 存続の危機・・・」とは、

- ・昨年度の飛沫会年会費の徴収額は79万円と低調(一昨年までは約60万円前後)
 - ・仮に2年で倍の約158万円として、全て新艇購入に充てても1艇分(約180万円)に満たない
 - ・仮に3年で1艇購入するとすれば、レース艇6艇すべての更新に18年かかる
 - ・レース艇の他、救助艇の準備も必要
- とすることで、現在の飛沫会の年会費収入では部の存続が危ぶまれます。

(4) 対策は、

- ・現在約350名の会員全員から年会費1万円のご協力をいただければ350万円となり、年間新艇1艇購入、救助艇更新費用の貯蓄、現役の遠征費等の一部負担が可能
 - ・とはいかないまでも、半数の会員からご協力をいただき、記念大会のような会員全体が集う催しを各年程度で行えば、現役への十分な支援が可能で、全国で岡山大学が活躍する日も近い
- とすることで、たくさんの会員のみなさまによるご協力が必要です。

(5) 飛沫会会員のみなさまへのお願い

岡山大学ヨット部存続のために、会員相互の親睦を深め、会員のみなさまによる、ヨット部への恩返し、親心、後輩愛に満ちた現役へのご支援をいただきますよう心よりお願いいたします。

◆支部便り◆

関東支部長 30代タマ

【関東支部】

歴代の支部長はじめ会員の方々が積み上げてこられた関東支部の発展、活性の為、微力ではございますが尽力できたらと思っています。

2018年は9月に都内で、全日本インカレ個人戦の为上京中の現役を交えての懇親会を開催しました。1人でも多くのOBの方々が現役の為に支援していただけるよう、また会員相互の和やかで楽しい親睦が図れたらと考えています。

会員の皆様の良きご理解とご協力をいただき今後ともご支援ご指導くださいますようよろしくお願い申し上げます。

東海支部長 32代テツカブト

【東海支部】

最初に実施したことは、前支部役員の方とお会いし、支部で定期的な懇親会を行うことにより交流を深めることと現役を支援することの合意を得ました。その後6月に懇親会を実施し、8名の方に参加頂けました。年配の方々に当時の活動内容などお聞きでき、楽しい一時を過ごすことができました。

そして、現役が中国インカレで完全優勝を果たし、蒲郡で全日インカレに出場することになりました。何とか応援艇をチャーターすることができ、11月3日応援に行きました。東海支部以外の方も含め9名の方々に参加頂きました。残念ながら当日は微風のためレースは開催されませんでした。現役と直接接して激励できたことは、私にとっても刺激になりました。

今後は、歴代40代以降のメンバーに飛沫会活動への参画を働き掛けたいと思います。交流の輪を広め、現役への支援を一層盛り上げるようにしていきたいと考えています。

【近畿支部】

私の前後の代は現会長のキッパンを始め、あの合宿所で寝泊まりした世代です。

現役当時のスキッパーであったガシコ（31代）が2010年総社吉備路マラソンに参加する際、私を誘って一緒に走ったことがきっかけで、毎年この大会の前夜に同年代が集まって飲むとともに、ほかのメンバーも吉備路マラソンに出場するようになっていきました。

この会に集まっていたメンバーが会長や中国支部長、関東支部長、東海支部長などに順次決まっていく中で、1年ほど前、総務担当になった同期のホーケイに声を掛けられ、近畿支部長を引き受けることになりました。

私は岡山に行くとき、ヨット部当時、合宿で起床後すぐのランニングと朝練、下級生の時の食事作り、強風時のトライアル（すぐ沈）の風景や微風時ののんびりした時間などがまるで昨日のこのように思い出されます。

現役のみなさんも、時代が変わり、内容にも違いがあると思いますが、ヨットをとおして充実した学生生活を送られていることでしょう。

近畿支部長に就任して1年、支部としての活動がまだできていませんが、会員の皆様の協力を得ながら36代幹事ワギナとタッグを組んで少しでも進めていければと思っています。

【中国支部】

九州・四国を含めて中国支部ですので、九州・四国に在住の皆様、一緒に楽しい行事をやっていきましょう。

さて、たまたま私の元同僚がJ24を持っていて、笠岡市長杯ヨットレース(岡山県)、鞆鯛網ヨットレース（広島県）、因島水軍ヨットレース（広島県）と、年3回レースに出ています。艇長はもちろん艇のオーナーですがティラーは私が握ってしまっていて、けっこういいスタートを切っています。しかしたった2人で乗っているのでスピンの上げ下ろしにいつも手間取ってしまって、順位を落としてしまいます。まあ、このように今もヨットに乗っています。「そんなことならわしがスピンワークをやってやろう」という方がいらっしゃいましたら是非ご一報をおねがいします。

話を戻しまして、飛沫会の役員になって頻りに岡山や牛窓に行くようになりました。会員や現役部員に会っていると、現実生活から一気に何十年か時間が戻って、合宿所での汚い布団や釜でご飯を炊いた記憶の世界に浸かってしまいます。

飛沫会の皆さん、久しく会っていない仲間やいつも会っている仲間に声をかけて、飛沫会を盛り上げて行きましょう。